

第2回東京大学果樹園跡地活用等検討委員会 会議要旨

開催日時	平成24年12月26日（水）10時00分～11時45分	
開催場所	町民センター2階2Aクラブ室	
出席者	委員	出席12名 村山邦夫委員、中村伸吾委員、宮治正志委員、宮戸健次委員、安部健治委員、簗島喜好委員、平吹幸子委員、明石敬史委員、石坂一夫委員、神保智子委員、高見利和委員、武井健一委員
	その他	傍聴 3名
	町職員	町長、政策部長
	事務局	政策部企画財政課3名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 土地利用の方向性について (2) その他 4. 閉会 	
配布資料	<ol style="list-style-type: none"> ① 次第 ② 資料1 『二宮果樹園跡地の沿革』 ③ 資料2 『開発許可関係事務の手引』 ④ 資料3 『町民意見募集結果概要』 ⑤ 資料4 『財政見通し』 ⑥ 資料5 『東京大学二宮果樹園土地利用検討の方向性』 	

■会議概要

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

(1) 土地利用の方向性について

【質疑・意見など】（※◎は会長、○は委員、●は事務局の発言）

◎前回会議で課題となった点について、本日資料等を用意しているが、ご質問等があればお願いします。

○職員宿舎があった場所は、今回の計画に入っているのか。

●そこは入っていない。

○建物を建てる場合、学生宿舎の場所だけが対象となるのか。

●学生宿舎から管理舎までの範囲は、建物が建っているのでできると思う。計画する際、平塚土木事務所で許可をいただかないと確定はしない。東大が閉園後に一度相談しているが、相談者が建物を建てる場合なので、それは無効になってしまう。町が相談して面積を確定しなくてはいけない。

○町がやる場合は面積が広くできるのか。

●広くできる。町がやる場合なら公園施設なども可能である。

○町がやる中で売店などが入ることもできるのか。

●売店は可能性としてはあるが、地域や地元の商店との協議が必要となるので、必ずとは言えない。

○土地は町が所有するが、建物を貸し出す場合の規制はあるのか。また、定期借地を含めてどのようなことができるのか。

●建物を建てて貸すことはできるが、その場合、建て替えはできなくなる。定期借地を町がやるかどうかということもあると思う。

○公園的な利用希望が多い中で、農業公園などにし、管理を民間にやってもらうことはできるのか。

●町が建物を建てて貸すことや、管理をお願いすることはあると思う。

○財政見通しでは、東大跡地の費用を見込んでの計画となっているのか。

●平成 30 年度から東大跡地の活用として見込んでいる。

◎現時点での見通しでは投資的経費として、5 億円確保できだろうと見込んでいる。ただ、東大跡地だけでなく、他のことも含めての数字である。それを前提に検討いただきたい。

○平成 25 年度から平成 30 年度は、今のところ予算が入っていない状況なのか。

●暫定利用で、建物を建てる、または維持管理だけ行うという状況によって変わってくる。

- 東大跡地に関する予算はどのくらい見込んでいるのか。
- ◎現在、町の予算編成を行っているところである。当面は草刈り分を見込んでいるが、それ以上のことは予算化が難しいのではないかと。町の支出をいかに少なくできるかということになる。
- 小学校の耐震化など5億円の中にも優先順位があると思う。
- ◎小中学校の耐震化は終わっているのだから、資料の大規模改修とは学校の内装面のものがある。
- 数字を見てしまうと、考えが固まってしまう。細かいところではなく、まずは進め方を固めた方が良く思う。
- 東大跡地のことは、新しい総合計画にどう記載されているのか。
- ◎新交流ゾーンとして位置づけてあるが、具体的なことは書いていない。

- ◎それでは、土地利用の方向性についてご意見等があればお願いします。
- 前回、現地を見ましようという話があったが、見る前に、このような話が出てイメージがわからない。ボランティアを活用するにも集まる目途がない中で、草刈りや管理の方法は町が決めても良いのではないかと。より効率的な方法は町の方が知っているはずではないかと。現地を見ることで感じるものがあると思う。
- ◎現地は土の入れ替えを行っているところであり、まだ県の確認がおりていない状況のため、来月開催する検討委員会では現地見学も考えている。
- 以前見たときは、すごい状態だった。ボランティアだけでは無理だと思うが、現地を見た中でお手伝いしたい方はけっこういると思う。自分たちが関わることで愛着がわく。行政としては、効率性は悪いかもしれないが、大切なことだと思う。町民が関わることで今後も協力してもらおうことができると思う。
- 次期総合計画の中でどう位置付けるのか。新交流ゾーンに位置付けられた東大跡地に町民、地域、行政が入っていくことで新たなまちづくりの拠点になる。そのような構想を持った中で検討していかないと、個々のことから入っていくと話が進まなくなると思う。
- 今回は、整備方針のコンセプトを決めるということで良いか。建物の維持、補修も含め、ボランティアでやってくれる方がいらっしやると思う。
- ◎当面は今の状態を維持していくしかないと思う。
- 維持するだけでも費用がかかるので、貸し農園にすれば良いのではないかと。建物は切り離して考えた方が良くはないかと。
- 将来構想は時間がかかるので、大きく手をつけないで、今後何か出てきた時に考えてはどうか。大きな議論から入るとまとまらなくなる。
- 町の計画は、町民が知らないところで決まってしまうことが多くあるので、暫定利用に多くの町民に関わってもらい、関心をもってもらおう。将来構想は、何もやら

- ない訳にはいかないので、暫定利用から町民の方に関わってもらい、いろいろなワークショップなどをやってもらうのはどうか。
- 若い方からの意見が少ない中、雨でも遊べる場所という意見があった。将来、完成した時に利用する若い世代からの意見も大切だと思う。参画してもらうには学校と連携し地域学習としてやっていけば、費用もかからない。子どもたちも地域とのコミュニケーションを体験できたら良いと思う。
 - 現地を知る。いろいろな人に知ってもらう。その中から生まれてくるものがあると思う。自由な発想で言うと、仮に暫定利用として、ふるさとまつりを開催するのは無理か。
 - 町の中心部にあるので皆さんが来るには良いが、駐車場や道路面での安全性の確保が課題となってくると思われる。
 - 町民の方知ってもらうためにも、こけら落としとして、暫定利用でやってみてはどうか。
 - 警察との協議が必要なのか。
 - イベントを行う場合、警察と協議している。
 - 町としては安全を確保することが大切になるのではないか。
 - 前例がないということで、何もできなくなってしまう。
 - ◎跡地のインフラをチェックしなくてはいけないと思う。
 - 何かやることで、きちんとした検討ができると思う。イベント企画で使いたい人に手を挙げてもらうなど。若い人の声が入っていないので、大学生などに声をかければ、私たちには思いつかない考えもあると思う。学習の場を作ってもらい、それを考える組織づくりが大切だと思う。
 - これは跡地の活用が前提になっていて、町民の参加が前提になっていない。次回現地を見学する時には、団体、自治会と一緒にみてもらうなどした方が良い。町の中で起爆剤が必要だと思う。
 - ◎管理については、ボランティアを活用しながら行うという方向でよろしいか。どのような方法があるかは、もう一度議論いただくということでもよろしいか。
 - 草刈り大会などを開催しても面白いと思う。
 - 将来構想が決まっていないので、将来構想を阻害しない利用が良いと思う。建物は廃屋のようなものもある中で、今後管理責任は町へ移ることになる。人が入る場合には、きちんとしなくてはいけないと思う。災害時の避難場所や仮設住宅など副次的なことも意識すべきだと思う。
 - ◎当面は維持管理になると思う。ボランティアは募集しないと時間もない。果樹は生きているのか。
 - 柿はほとんどが駄目になっている。
 - 小田原厚木道路から見ると人工的な壁面が目立つ。木を植えて壁面を隠すなど検討の

余地があるのではないか。

- 夏休みを利用して、小学校で農業体験をすれば喜ぶと思う。
- 将来的な構想も必要である。小さな町でファンドで事業をやっているところはあるのか。
- 行政ではないが、NPOに投資するところがあったり、地域の信用金庫と連携しているところもあるようだ。
- ◎これからの時代は、行政だけでの展開が難しくなっている。民間の資金をうまく引き出しながらの活用となってくるかもしれない。

(2) その他

次回は1月29日午後1時30分からの開催とし、現地見学と会議を行う。

7. 閉会

以上